

<平成 25 年度>

## 管理部の取り組み実績

教育総務課  
学校規模調整課  
学校給食課

### ■ 基本方針 ■

平成 25 年度は、「幼稚園の耐震化」、「小中学校のトイレの改善」、「中学校給食への取り組み」などを重点施策とし、子どもたちが安全に安心して学校園へ通うことができるよう、教育委員会の基本目標である「学びを支える学習環境」の充実に努めます。

#### 実績

- ・幼稚園の耐震化や小中学校のトイレ改善、中学校給食への取り組みなどの重点施策について、計画的に事業を実施し、学習環境の充実を図った。

### I 重点施策・事業

#### ◆学校園の安全対策の実施

平成24年度に引き続き、小学校の監視カメラおよび校門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホンの活用に加えて、来校者の多い時間帯及び下校時間帯に合わせた安全監視員等の配置を行います。また、幼稚園5園の耐震補強工事を実施し、安全・安心な学校園の教育環境の確保を図ります。

#### 実績

- ・学校安全監視事業については、監視カメラ等の活用に加え、安全監視員等の配置を行い、学校の安全確保を図ることができた。
- ・幼稚園耐震補強事業については、5園の耐震補強工事を完了した。



行方安全監視ボランティア  
小学校の校門の安全監視を

#### ◆学校園施設・学習環境の整備

平成24年度に引き続き、空調設備と緑のカーテン・緑のじゅうたん等の植栽の適切な維持管理により、環境学習を推進します。また、老朽化する学校園の施設・設備の機能回復を図るため、計画的な改修を進めます。特に、小中学校のトイレについては、老朽化対応としてドライ方式に改造するとともに洋式トイレや多目的トイレの整備、壁・天井の塗替え・張替えなどを実施し、また、教室棟のフロアに洋式トイレのない小学校には、洋式トイレの整備を進めるなど、平成25年度は、8 小学校・4中学校について環境整備に取り組みます。



ドライ方式によるトイレ改造（山之上小学校）

#### 実績

- ・空調設備と緑のカーテン・緑のじゅうたん等の植栽について、適切な維持管理を行った。
- ・老朽化する学校園の施設・設備について、計画的に改修し、機能回復を図った。
- ・トイレ改造工事を2小学校・1中学校で、トイレ美装工事を4小学校・3中学校で行い、洋式トイレを3小学校で整備した。

#### ◆学校規模等の適正化の推進

「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、適正化の具体的な方策や実施時期等について検討を進め、「平成25年度枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定します。また、「平成24年度枚方市学校規模等適正化実施プラン」に基づき、枚方小学校の児童の増加に伴う教室不足による過密化を解消するため、校舎増築工事に着手します。

#### 実績

- ・「平成25年度枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定し、川越小学校と東香里中学校が一小一中の接続関係となるよう通学区域の変更を行った。また、枚方小学校で普通教室4教室を増築した。



枚方小学校増築校舎

#### ◆学校給食の充実

中学校給食について、選択制の共同調理場（ランチボックス）方式による共同調理場の整備に向けた取り組みを進めるとともに、老朽化した小学校給食共同調理場についても、中学校給食共同調理場と合築することにより、効果的な施設整備をめざします。平成25年度は、用地測量・施設の設計を進めます。

また、小学校給食を通じて地域産業や食文化への関心と理解を高め、食物や生産者に対する感謝の念を醸成するため、引き続き、枚方産・府内産農産物の利用を進めます。

#### 実績

- ・小中学校給食共同調理場の用地を取得し、基本設計を行った。
- ・中学校給食の配膳室（受入施設）の実施設計を行った。
- ・枚方産、大阪府内産農作物の利用促進に努めた。

## II 行政改革・業務改善

### <行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し（学校園校務業務・学校給食調理業務）	技能労務職員等が従事する業務について、セーフティネットの確保や業務の効率化等の視点から検証を行い、職員配置基準の見直しを行う。

#### 実績

- ・学校園校務業務・学校給食調理業務のあり方について、取りまとめに向けた検討を進めた。

改革課題	取り組み内容・目標
44. 施設の使用料の見直し③市立学校園の施設開放事業	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との事業統合などの方針を決定し、電気使用料等の実費相当額の負担について具体化を検討する。

#### 実績

- ・学校園施設開放に係る制度の運用状況について実態調査を行い、事業統合に向けた検討を進めた。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
学校園校務員業務	知識・技能の継承や効果的・効率的な運用が継続的に行えるよう正職員とその他の任用形態の職員の適切な配置を検討する。

**実績**

- ・全 75 校園を 9 ブロックに編成し、ブロック単位の会議を開催し情報共有を図るとともに、業務の応援や共同化を通じ、知識・技能の継承や効果的・効率的な運用を確保する観点から、正職員とその他の任用形態の職員の適切な配置について検討を進めた。



より安全・安心な学校給食の実現へ

**その他実績**

- ・市立小中学校全 64 校の電力調達について特定規模電気事業者（PPS）等を活用し、約 4000 万円の経費の節減を図った。

**Ⅲ 予算編成・執行**

- ◆平成 25 年度に計上予定の学校トイレ改善事業などの投資的事業について、国の経済対策による臨時交付金等を活用するため、平成 24 年度 3 月補正予算に前倒して計上するなど予算を工夫して財源確保を行い、効率的に執行します。

**実績**

- ・臨時交付金等を活用するため、学校トイレ改善事業等を平成 24 年度 3 月補正予算に前倒しして計上し、3843 万円の財源を確保した。

- ◆これまで費用を負担して廃棄処分していた古い ICT 機器について、売り払いに変更し、収入の確保を図るなど、効率的な予算執行に努めます。

**実績**

- ・ICT 機器の更新時期等の見直しを行い、効率的な予算執行を図った。

**その他実績**

- ・小学校給食の米飯食缶の仕様と調達方法の見直しを試行し、調達経費の縮減を図った。

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
業務の執行の再検討とマニュアル化	業務の流れを再検討し、円滑な執行に向けて業務マニュアルを順次、作成する。

**実績**

- ・人事給与事務に関する業務の手順を示したマニュアルを作成した。
- ・学校情報セキュリティポリシー、学校情報セキュリティ対策基準等運用マニュアルを作成した。
- ・学校園施設修繕の事務に関する効率化、分担の明確化を図るため、マニュアルを作成し、学校園が使用する事務手引に掲載した。
- ・平成 26 年 4 月からの運用開始に向け、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を作成した。

## IV 組織運営・人材育成

- ◆管理部の基本目標である「学びを支える学習環境」の充実をめざすため、目標の共有化を図り、部内の緊密な連携による効果的な組織運営に努めます。

### 実績

- ・教育委員会連絡会議、教育委員会次長会議、部内事務連絡会議を適宜実施し、目標の共有化と緊密な連携を図った。また、各課においては、効果的な事務執行のため、課内会議等を適宜実施した。

- ◆給食調理など技術を要する業務や情報通信技術など専門性が求められる分野については、業務ノウハウの継承を図り、業務継続性を確保できる人材育成に努めます。

### 実績

- ・調理員や栄養教諭等を対象に、食物アレルギー、衛生管理、災害時の炊き出し等についての研修・訓練を実施した。
- ・eラーニングによる情報セキュリティ研修や情報通信技術に関する専門研修を受講した。

- ◆学校教育の情報化を体系的に進めるにあたり、ICT活用の推進に関する人材の育成に取り組み、子どもたちの情報活用能力の育成や学びの場における情報通信技術の活用を図っていきます。

### 実績

- ・教職員の事務の軽減と、学校内の情報セキュリティの向上を図るため、校務支援システムを平成26年度から導入することとした。
- ・枚方市立学校情報セキュリティポリシーを策定し、全小中学校の情報教育担当者を対象に研修を実施した。

### その他実績

- ・学校施設整備計画の策定に向け、先進都市（名古屋市）の視察を実施した。

## V 広報・情報発信

### ◆〈ホームページ・情報発信の充実〉

本市教育委員会の活動や学校園における学習環境整備状況など、子どもたちの教育環境にかかわる情報を保護者や市民にわかりやすく提供するとともに、都市ブランドである「教育文化都市ひらかた」の発信に努めます。

また、写真や動画などを活用し、見やすく、興味がわくホームページとなるよう構成を再検討し、新鮮な情報を発信できるよう工夫します。

### 実績

- ・FMひらかた「ひらかた教育ステーション」において、教育に関する事務の点検及び評価、中学校給食の特集、学習環境の整備など、教育委員会の取組について放送し、また教育委員会定例会・協議会の会議録をホームページに掲載するなど、広く市民に情報発信を図った。
- ・広報ひらかた平成26年3月号において、小中学校給食共同調理場の整備、食物アレルギー対応、中学校昼食弁当の販売について特集記事を掲載した。
- ・市民が利用しやすいホームページとなるようにホームページの見直しを随時図った。